

昨年12月、内閣総理大臣を本部長とするSDGs推進本部が決定したSDGsアクションプラン2019は、「SDGsと連動する『Society5.0』の推進」をSDGs推進にむけた3本柱の1つに掲げています。Society5.0とは、狩猟社会(society1.0)、農耕社会(society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く「サイバー空間と現実世界とが融合した社会」とされていますが、今回は、国で議論されているSociety5.0の実現をととしての2030年代の姿を紹介します。



『SDGsアクションプラン2019』のポイント

- 日本は、豊かで活力のある「誰一人取り残さない」社会を実現するため、一人ひとりの保護と能力強化に焦点を当てた「人間の安全保障」の理念に基づき、世界の「国づくり」と「人づくり」に貢献していく。
- 『SDGsアクションプラン2019』では、次の3本柱を中核とする日本の「SDGsモデル」に基づき、『SDGs実施指針』における8つの優先分野に総力を挙げて取り組むため、2019年におけるより具体化・拡大された政府の取組を盛り込んだ。
- 2019年のG20サミット、TICAD7、初のSDGs首脳級会合等に向けて、①国際社会の優先課題、②日本の経験・強み、③国内主要政策との連動を踏まえつつ、以下の分野において国内実施・国際協力の両面においてSDGsを推進。

I. SDGsと連動する「Society 5.0」の推進

中小企業におけるSDGsの取組強化
 > 大企業や業界団体に加入、中小企業に対してもSDGsの取組を強化。
 > 「SDGs経営/ESG投資研究会」の開催等を通じて、『SDGs経営イニシアティブ』を推進。TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言を踏まえ、企業の取組を促進。
 > 『中小企業ビジネス支援事業』を通じた途上国におけるSDGsビジネスの支援。
科学技術イノベーション(STI)の推進
 > 統合イノベーション戦略推進会議下の「STI for SDGsタスクフォース」で、『ロードマップ』やそのための「基本指針」を策定。「STI for SDGsプラットフォーム」の立ち上げも準備。
 > STIフォーラムやG20関連会合を通じ、国際社会における議論を促進。

II. SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくり

SDGsを原動力とした地方創生
 > SDGs未来都市の選定、地方創生SDGs官民連携プラットフォーム等を推進。
 > 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会、2025年大阪・関西万博を通じたSDGsの推進。
 > ICT等先端技術を活用した地域の活性化。
 > スマート農林水産業の推進。
強靱かつ環境に優しい循環型社会の構築
 > 国内外における防災の主流化の推進。
 > 質の高いインフラを通じて連結性を強化。
 > 海洋プラスチックごみ対策を含む持続可能な海洋環境の構築。
 > 地域循環共生圏づくりの推進。
 > 日本の技術・経験を活かした気候変動対策への貢献。
 > 省エネ・再エネ等の推進。

III. SDGsの担い手として次世代・女性のエンパワーメント

次世代・女性のエンパワーメント
 > 「次世代のSDGs推進プラットフォーム」を始動し、国内外における具体的な取組を推進。
 > 3月に同時開催するWAW!(国際女性会議)とW20(G20エンゲージメント・グループ会合)において女性活躍のための方途について議論。
教育・保健分野における取組
 > 国内で、幼児教育から高等教育まであらゆる段階において「質の高い教育」を実施。
 > G20関連会合やTICAD7を通じ、日本の経験を共有しつつ、国際教育協力やUHC(ユニバーサル・ヘルズ・カバレッジ)を推進。

展開とフォローアップ
 > 日本のSDGsモデルを、東南アジア・アフリカを重点地域としつつ、国際社会に展開していく。
 > 国際的な指標等に基づいて、これまでの取組をレビューし、2019年後半に『SDGs実施指針』を改訂。

2030年代に実現したい未来の姿(人づくり)「I:インクルーシブ」

3



働く人 職場スイッチ

多様な職種や働き方に対応できる職場環境の構築。AIやVRを活用した研修や業務支援の実施。

多様な職種に所属し、業務も柔軟で実施。

多様な職種に就き、時間の切り売りで個人の能力を最大限発揮。家でもカフェでも、スイッチ一つで切り替わってワークスペースを効率サポート。

I インクルーシブ

年齢・性別・障害の有無・国籍・所得等に関わりなく、誰もが多様な価値観やライフスタイルを持ちつつ、豊かな人生を享受できる「インクルーシブ(包摂)」の社会

しごとや職業、働く場所や組織に関わらず、みんなの才能を発揮

人生100年、頭や身体の衰えはハイテクでカバーし、元気に活躍

読み・書き・デジタル、世界の人材と戦う武器を幼少期から装備

自分の選んだメニューで、会議の内容を翻訳して自在にコミュニケーション

ロボットも家族の一員、人間とロボットが、会話や生活サポートを通じ共生

高齢者 健康100年ボディ

AIで山頂までの道のりや天気等のリアルタイムの情報をリアルタイムで表示し、安全に登山を楽しむ。

補助アームや補助レッグを装着して歩行をサポート。

体全体のバランスが取れるよう、個人の身体の状態に合わせて補助デバイスが自動制御

ハイキングに集まったのは約80~100歳。元気一杯だが、身体の一部に補助アームやARグラスなどを装着。

子ども パノラマ教室

ドローン操作プログラムのシミュレーション画面も教室の壁などに表示

海中、宇宙空間、人体の体内や、世界の様々な社会を、体験しながらVRで体験学習

壁や天井、机がディスプレイになり、プログラムで作成したアプリのデモ表示。VRではいろいろな地域・時代の体験学習が可能に。

ロボット お節介ロボット

お節介さんロボット、お節介さんロボット、お節介さんロボット

お節介さんロボット、お節介さんロボット、お節介さんロボット

目覚め・歯磨き・着替え・朝食などの代りお節介さんロボット。

障害者 あらゆる翻訳

資料の内容が自動的に翻訳

資料の内容が自動的に翻訳

資料の内容が自動的に翻訳

目や耳が不自由でも、外国語が苦手でも、自分の選んだメニューで会議の内容を翻訳して自在に伝えるシステム。

自治体 どこでも手続

レストランの中でも、どこにいても手続可能。

やりたいことを選べればAIが自動で準備。

24時間受付のネット窓口が当たり前。画面をさわると思われる忠実で有能な執事ロボが、お役所イメージを刷新。

C コネクティッド

地域資源を集約・活用したコンパクト化と遠隔利用が可能なネットワーク化により、人口減でも繋がったコミュニティを維持し、新たな絆を創る「コネクティッド(連結)」の社会

防災 あちこち電力

被災地の避難施設でも安定的に電気が供給され、通信を確保。

地震・津波が起こっても遠隔(宇宙)から給電するシステム。

超大規模な災害が発生しても、ワイヤレス給電などあちこちで電力確保。決して途絶えない通信で、避難誘導や安否確認に威力発揮。

健康医療 いつでもドクター

バイタルデータは日中も健康中心センターなどで簡単に収集。患者もスマートフォンからの送付もスマートロブが行う。

日本のバイタルデータも、遠隔で集約して診断や検査も可能に。

手術の準備は有能な執事ロボが安全な手術室に誘導し、手術も自動化。

外科的治療が必要な、急重症患者はバイタルデータが支え、軽症で経過。

家でも街中でもインプラント端末やセンサーで健康管理をサポート。異常があればAIで簡単な診断を行い、専門医が早期に超低侵襲治療。

24時間ネットで受付 忠実で有能な執事ロボがお役所イメージを刷新

大災害が発生してもワイヤレス給電などで、途絶えないネットワークを維持

医療が24時間見守り、病気は予防・早期発見で治療も超進化

自動運転の空陸両用タクシーが過疎地や高齢者の足となり、事故や渋滞も大幅解消

ARで好きな時代を再現 音や香りなども再現することで、より感動的な体験に

公共交通 クルマヒコーキ

設定した時代に応じて風景を再現

行き先を告げると、あとは目的地まで自動運転

自動運転の空陸両用タクシーが近距離の輸送手段に成長。過疎地や高齢者・障害者の足となり、事故や渋滞も大幅解消。

ツーリズム 時空メガネ

メガネを掛けるとそこに城があるように。

当時の景色や人々もARで再現。

歴史のある観光名所など、ARで好きな時代の風景を再現。音や香りなども再現することで、より感動的な体験に

金融・決済 らくらくマネー

増味が自動で適量し、適量するだけで決済完了。

支払は完全キャッシュレス。購買履歴の作成や信用データの形成も自動化でき、家計管理・借入れや各種申告にも簡単に活用。

T トランスフォーム

設計の変更を前提とした柔軟・即応のアプローチにより、技術革新や市場環境の変化に順応して発展する「トランスフォーム(変容)」の社会

一次産業 全自動農村

システムの管理も遠隔地から可能。

農業は土地の集約化による大規模農園化。農薬などは完全自動化。全ては、ロボが、ドローンによる管理で駆使される。

農業など地場のなりわいはIoT・ドローン・ロボットの担い、人手不足や高齢者の負担を解消。生産性も高まり、景観も維持。

流通・運輸 えらべる配達

無人の自動スーパードローンが自宅近くに来る。

配達ドローンが自宅の配達スポットに荷物を届ける。

ドローンが空から、ライドシェアの車が玄関に、スーパードローンが近く。色々な無人配達をネットで選べて、買い物難民も解消。

買い物は完全キャッシュレス。購買履歴の作成や信用データの形成も自動化でき、家計管理にも簡単に活用。

農業はロボット耕作、配達はドローンで自動化 人手不足・高齢化を解消

データを買って 我が家の3Dプリンタで製造 匠の技も簡単に再現

ドローンや自動運転の無人配達を自由に選び、暮らしに必要な買い物を楽々調達

家庭で有名レストランの味をAIが正確かつ高速で再現する料理マシンが登場

ものづくり 手元にマイ工場

操作に不慣れな人も地域で助け合い。

日々の生活で使った日用品は自分で作るように。コンビニもモノからデータを転写して再現。

日用品や雑貨など、データを買って自分でプリント。日頃学んだプログラミングで世界に一つだけのデザインに加工。

サービス業 三つ星マシン

メニューを選べばあとは料理マシンにお任せ

各地の素材を使いつつ、個人の健康状態も加味しながら、家庭や有名レストランの味をAIが正確かつ高速で再現。